

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 872

所管部局	福祉部	所管課	健康課	担当者名	小林 早苗
事業名	訪問型介護予防事業			事業分類	施設管理費
細事業名	訪問型介護予防事業			政策体系	145
会計	介護特会	科目	4.地域 - 1.介護 - 1.介護		

1. 事業の概要

口腔機能低下や閉じこもり、認知症等の特定高齢者を対象に、栄養士・歯科衛生士・保健師等が訪問し、生活機能の改善に向けての具体的な方法を指導した。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

高齢者が自立した生きがいのある生活を続けていく為に、要介護状態の危険性のある高齢者を対象に訪問事業を実施し保健指導を行い要介護状態の予防を図る。

②事業を実施する必要性

高齢化が進んでおり、本事業を実施することで、健康寿命の延伸を図り、生きがいのある自立した元気な老後を過ごしていただく為に必要である。結果として介護保険料の負担軽減への効果も期待される。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円			0	37	115	208	208
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円			0	37	115	208	208
財源内訳	使用料・手数料等	千円		0	11	34	62	62
	国・府支出金	千円		0	13	43	78	78
	地方債	千円		0	0	0	0	0
	一般財源	千円		0	13	38	68	68
職員等の従事人員	人/年	—	—		0.06			
人件費	千円	—	—		446			
事業費総額	千円	—	—		446			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

特定高齢者訪問事業 36,520円（賃金）

5. 事業結果の概要

口腔機能の改善だけでなく、口腔ケアにも関心をもっていたりきっかけとなった。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 訪問事業		
特定高齢者把握事業で「うつ」「閉じこもり」「認知症」などの生活機能低下がみられた方について、保健師・看護師等による訪問で、各種サービス事業に繋いで生活機能の低下を防ぎ、生活機能の維持・改善を図る。	H21.10～H22. 1にかけて実施	対象者：H21年度生活機能評価の結果、特定高齢者となった者（口腔機能について） 指導実人数 4人(延 8人)

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

口腔機能の改善だけでなく、口腔ケアにも関心をもっていただくきっかけとなった。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価